

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年11月16日発行

— 2017.11.6～2017.11.12—第45週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第42週	第43週	第44週	第45週
水痘	5 1.00	1 0.10	2 0.40		2 0.67	1 0.20		17 0.63	28 0.47	895				○
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50				2 0.07	4 0.07	574				
百日咳									0	10				
感染性胃腸炎	46 9.20	52 5.20	15 3.00	14 7.00	6 2.00	12 2.40		208 7.70	353 5.98	12,604	◎	◎	◎	◎
手足口病	6 1.2	15 1.5	7 1.40	9 4.5	2 0.67	41 8.2	4 2	75 2.78	159 2.69	7,270	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	1 0.2		4 0.80				4 2.00	4 0.15	13 0.22	214				
突発性発しん	2 0.40	5 0.50	5 1.00		2 0.67	3 0.60	2 1.00	13 0.48	32 0.54	1,436	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ	1 0.2		2 0.40		1 0.33				4 0.07	1,009				
インフルエンザ	6 0.75	23 1.53	25 3.13		9 1.80	8 1.00		25 0.57	96 1.01	27,559		○	◎	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	5 0.50	2 0.40	2 1.00	1 0.33	2 0.40		10 0.37	25 0.42	1,490				○
流行性角結膜炎		1 0.33	2 2.00					2 0.33	5 0.42	138				
急性出血性結膜炎									0	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	20 2.00	5 1.00	4 2.00	3 1.00	23 4.60	2 1.00	38 1.41	110 1.86	6,363	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0	3				
無菌性髄膜炎									0	1				
マイコプラズマ肺炎			3 3.00	1 1.00		2 2.00		2 0.40	8 0.67	267				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0	0				
RSウイルス感染症	8 1.60	4 0.40	1 0.20		1 0.33		1 0.50	24 0.89	39 0.66	2,301	◎	◎	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0	51				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	8	3	1				3		13	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病													
	不明発しん症									4				

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 女児1名※
仙南管内 男性1名
仙台管内 男児1名※

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O115)
仙南管内 男性1名

4類感染症: つつが虫病

仙南管内 男性1名、女性1名
レジオネラ症
仙台管内 男性1名

5類感染症: 梅毒

大崎管内 男性1名
仙台管内 女性2名

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

石巻、仙台管内で警報継続中

[伝染性紅斑]

気仙沼管内で警報値を超えた

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定	第43週採取分	第44週採取分
	第42週採取分	(10.23～10.29)	(10.30～11.5)
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	0件	1件	0件
RSウイルス	2件	3件	1件
パラインフルエンザウイルス(1型)	1件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス(4型)	0件	1件	0件

* RSウイルス、パラインフルエンザウイルスの分離が多い状態が続いています。

* 第43週にB型インフルエンザウイルスが分離されました。

4. 今週のコメント

【つつが虫病】

ツツガムシ(ダニの一種)が保有するつつが虫病リケッチアが原因となり、38℃以上の高熱、発疹などの症状を引き起こす感染症です。全国的に春～初夏と秋～初冬の2峰性に患者数が増加します。ツツガムシは草地に多く生息していることから、草刈りや山菜採り、レジャー等の際は、ダニの刺されないよう肌の露出を少なくするなどの対策を取ることが重要です。ツツガムシ病での死亡例も報告されていますので、ダニの刺し口とともに、疑われる症状がある場合は、速やかに医療機関を受診して下さい。

【梅毒】

梅毒の感染が全国的に広がっています。今年第44週までの患者数は、全国で4,813人、県内で51人となっており、昨年の患者数をすでに上回っています。梅毒は主に性行為で感染します。妊婦の感染は、流産や死産の原因となるほか、新生児の目や耳に障害が出たりします。早期発見、早期検査、早期治療が重要となりますので、感染を疑う場合は早期に医療機関を受診して下さい。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

